

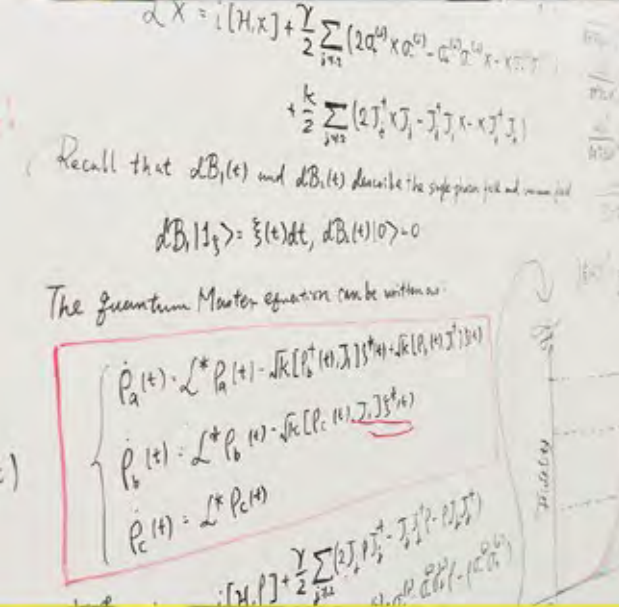
物理情報 工学科

Department of Applied
Physics and Physico - Informatics

学科定員:103名

学門A・学門Bから進級できます

<https://www.appi.keio.ac.jp/>



物理の基盤知識を 様々な先端技術に応用する

超伝導技術を駆使した省エネ社会、量子コンピュータの実現による高速演算、スピントロニクスによる次世代情報技術や光を利用した生体の計測制御など、物理情報工学科では物理と数学を基盤とした「ものづくり」のための応用物理学を学びます。多岐にわたる専門科目と研究活動を展開し、世界を先導するエンジニアの育成を目指しています。

学門 A	学門 B	学門 C	学門 D	学門 E
物理・電気・ 機械分野	電気・ 情報分野	情報・数学・ データ サイエンス 分野	機械・ システム分野	化学・ 生命分野
物理学科 物理情報 工学科 電気情報 工学科 機械工学科	電気情報 工学科 情報工学科 物理情報 工学科 システム デザイン工学科	情報工学科 数理科学科 管理工学科 生命情報 学科	機械工学科 システム デザイン工学科 管理工学科	化学科 応用化学科 生命情報 学科

学びのキーワード

量子情報 量子計算 量子制御 量子光エレクトロニクス スピントロニクス 情報光学 ナノデバイス
ナノフォトニクス トポロジカル物理 大規模並列計算 高分子光学 表面物性 プラズマ核融合工学
相関電子物理・超伝導 流体物性論 微小エネルギー変換・熱分析 量子アニーリング
界面反応プロセス 物質探索 ソフトマター 物性理論・計算物質設計 低次元性半導体物理学 物理化学
生体計測 信号処理 画像処理 システム制御 遺伝子制御 生体制御 環境センサ
IoT 数値最適化 人工知能(AI) データサイエンス ヒューマンインターフェース

応用物理、エレクトロニクス、システム科学における最先端の研究

新しい基礎工学や基礎技術の創成とその展開を目指し、情報・エネルギー・システムのための応用物理学を研究しています。具体的には次世代の技術の中核を成す「量子・情報物理」や新しい物性・エネルギーを創出する「創発物性科学」、様々な現象を測り制御する「情報計測・情報制御」を中心に、多岐にわたる応用研究を行っています。

世界で活躍できる人材育成を目指し、国際交流を重視 —4学期制の導入

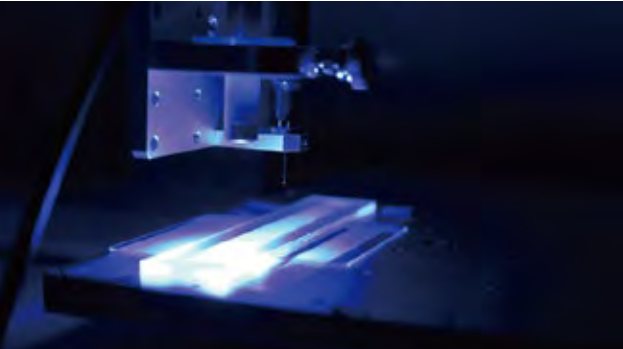
基礎工学の知識を学生時代にしっかりと習得し、卒業後に社会でリーダーシップをとることができる人材の育成を目指しています。また、第3学年では4学期制が導入され、海外の大学で単位を取得することも可能なカリキュラムを編成しています。積極的な国際交流・国際進出を実現しており、将来は先端的な研究開発において世界を舞台に活躍することを期待しています。

応用物理を体系的に理解するための充実した基礎・専門科目

応用物理学の基盤である「電磁気学」「量子力学」、また、エレクトロニクス分野に必須の電気・電子回路学、解析・モデリングに必要な数理的手法を学び、工学の基礎を習得します。また、「物性物理」や「制御工学」の必修科目、「プログラミング」、「計算アルゴリズム」などの情報系科目、および様々な選択科目により専門的学力を養い、これらの知識を各専門分野に応用する能力を培うことができます。

どんなことが勉強できるの？

最先端のナノデバイスを開発し情報技術を刷新する



物質の光学的・電氣的・磁氣的性質の解明と、量子情報技術やスピントロニクスなどの、次世代情報技術の創出を目指します。また、最先端ナノテクノロジーによる、新しい半導体・金属・磁性材料の研究や、ナノデバイスの開発を進めています。物理学の応用により、高速に大量の情報を処理する未来の情報技術を担う新しい素子・材料・物質や、計算方法なども研究しています。

環境に配慮して自然エネルギーを効率よく活かす



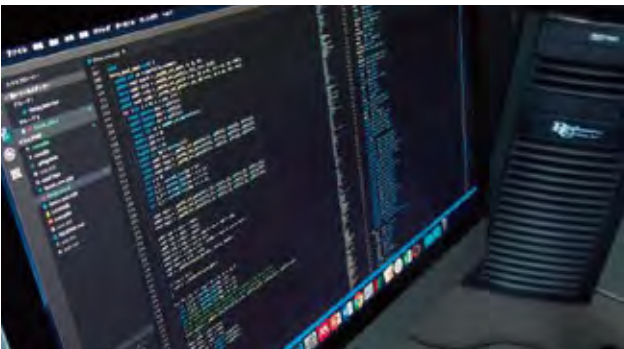
小さな太陽を地球上に作り出す核融合技術、空気中や水中に放出されていた熱から電力を取り出す熱電素子、大電力を損失なく送ることができる超伝導材料などの先端エネルギー技術に関する研究を進めています。また、物質の表面や界面に特有な構造に着目し、触媒や吸着剤などの様々な環境エネルギー材料の単分子スケールの評価を行うことで、地球にやさしい未来の技術の研究も行っています。

ミクロからマクロまで様々な情報を測り思い通りに操る



応用物理やエレクトロニクスの要素技術を組み合わせて、さらにミクロで僅少な機能からマクロで膨大な機能まで様々な情報を計測して制御する技術を学びます。初期がんを検出するバイオセンサや、生体の微小な振動の計測から遺伝子発現の制御、携帯型端末による多点での環境情報計測、地上/航空交通システムの制御まで、高度な計測・制御技術を研究しています。

物理×情報が可能とする新たな情報処理技術を開拓する



圧倒的な計算能力を有すると期待される量子コンピューティング技術を中心として、新たな情報処理技術を開発しています。また、物理学における挑戦的な課題である量子多体系の理解と制御のために機械学習を用いた新しい理論物理学を開拓し、スーパーコンピュータを用いた超大規模の計算によって初めて解き明かされる現象の解明を目指して研究しています。

進級・卒業・進路について

2024年3月

1年次	2～4年次	学部卒業後 ※1	修士課程修了後 ※1	
学門A 約40%	学門Aから進級 約70%	就職 17.8%	日本航空株式会社 株式会社ベイカレント・コンサルティング 三菱UFJ信託銀行株式会社 日本マイクロソフト株式会社 日本電気株式会社 他…34社 ※2	
学門B 約20%		大学院 修士課程進学 81.3%	就職 82.9%	東海旅客鉄道株式会社 日本電信電話株式会社 富士通株式会社 株式会社野村総合研究所 株式会社NTTデータグループ 日本アイ・ビー・エム株式会社 キオクシア株式会社 株式会社日立製作所 ソニーグループ株式会社 トヨタ自動車株式会社 株式会社リコー 住友電気工業株式会社 他…86社 ※2
学門C				
学門D				
学門E	学門Bから進級 約30%	大学院博士課程進学 14.5%		
		その他(留学、資格試験準備など)0.9%	その他(留学、資格試験準備など)2.6%	

※1 就職・進学・その他は2023年度(2023年9月、2024年3月)卒業・修了者の情報を記載
※2 就職先は直近3年間の就職先企業名を記載(原則として本人の届出に基づく) いずれも理工学部学生課キャリア支援オフィス調べ